

本年度の第1回学校運営協議会を、6月4日(水)午後2時より足助高校にて開催いたしました。愛知県教育委員会より13名の方に学校運営協議会委員として委嘱していただき、協議会では次のような報告、協議を行いました。

- ①学校運営に関する基本的な方針の承認
- ②学校運営協議会及び足助高校の令和6年度取組
- ③令和6年度足助高校コミュニティファンド会計報告
- ④足助高校の活動方針
- ⑤観光ビジネスコース及び探究活動の取組

以下は、各委員からのご提言です。中山間地域とともに歩む「足助高校」として、今年度も魅力ある学校の取組を推進いたします。

令和7年度第1回学校運営協議会

<重点目標>

上沼校長 来年度より「観光科」の生徒募集開始となり、観光を体系的に学ぶため座学の授業だけでなく実習を増やしたり、探究活動を充実させることでより本校の魅力を発信していきたい。

認知能力だけでなく、探究活動を通じてコミュニケーション能力や協調性を高められる魅力的な授業を目指す。

<提言>

足助交流館長：宇和佐顧問

3年生生徒作製の小説のカバー付けを行い、閲覧がしやすいように協力していきたい。

三州足助公社社長：岡村委員

足助高校のさまざまな活動に全面的に協力していきたい。

足助支所長：花木委員

山間部の魅力を連携して発信していくことと、市としての支援を続けていきたい。

足助商工会長：村上委員

学校の取り組みについては評価している。店を経営する立場から、倫理的教育にも力を注いでほしい。

愛知県観光局課長補佐：鈴木アドバイザー

観光に対する教員の立場を知ることができて良かった。人材不足の昨今、地元の産業を支える人材をより多く育ててほしい。

おいでんさんそんセンター：戸田委員

小・中学校の生徒との連携を大切にし、交流が活発になるとよい。生徒同士の学びが広がれば、地域の繋がりにもなる。

足助高校 PTA 会長：鈴木委員

ボランティア活動などの取り組みを、もっと地域に情報発信したほうがよい。

コミュニティパワー取締役：関原委員

情報発信がまだ課題であり、対象を受験生だけでなく地域に広げることが必要。積極性のある生徒が増えてきて頼もしい。

豊田市立旭中学校長：近藤委員

少人数教育と進路における実績を含め、十分学校の魅力を発信できる。
さらに観光科にも期待したい。

豊田市立稲武中学校長：山田委員

ルールメイキングによる新しい文化づくりは、生徒にとってとても楽しいのでは。人間関係の広がりにつながる教育に期待する。

豊田市議会議員：鈴木顧問

「類型」から「コース」となって集団での実践ができるようになり、最近では個人単位での活動も活発となり、「科」への準備が整ったのではないかな。

愛知県観光局局长：武田顧問

観光科に向けて、今後のプログラムの充実と生徒の育成に期待している。
持続可能な観光を考えていく上で、様々な問題を解決できる能力の育成が大切ではないか。

イベントやコンテストなどにもっと参加して情報発信をした方がよい。

足助高校同窓会長：鈴木会長

生徒の募集の状況次第では、早急に住居問題を議論していく必要がある。
同窓会費を探究などの学校活動に充ててもらってもよい。

足助観光協会会長：田口副会長

旭・稲武などの他地区の協会と連携しながら、地域の活性化を模索していきたい。
生徒の生活場所の確保が急務で、議論を進めていきたい。